

供給再開 特別企画 / 長い間ご迷惑をおかけし、申し訳ありませんでした。

産直牛乳のお届け一時停止を振り返って。

東日本大震災直後、私たちの身のまわりで多くの物資の供給が一時的にストップしました。

パルシステムでも少なからぬ商品がお届けできず、ご迷惑をおかけしました。

とくに産直牛乳は、代替りの商品をお届けする期間が長く、「なぜいつもの牛乳が届かないの?」という疑問の声も。

じつは、農場や工場の直接的な被災だけでなく、思わぬ原因でもお届け再開に時間がかかりました。

今回はその原因とその後の対応について、お伝えします。



牛乳づくりを支える、あらゆるものが断絶…。



● 輸送できない!

北海道や東北では、まず「輸送できない」という事態に陥りました。牛乳を運ぶルートである太平洋側の港や東北自動車道が寸断してしまっただけです。『こんせん72牛乳』などは別の港を確保するなど、少しでもお届けできるよう手を尽くしたものの、フェリーで運べる数量に制限がかかり、平時と同じ量は輸送できませんでした。

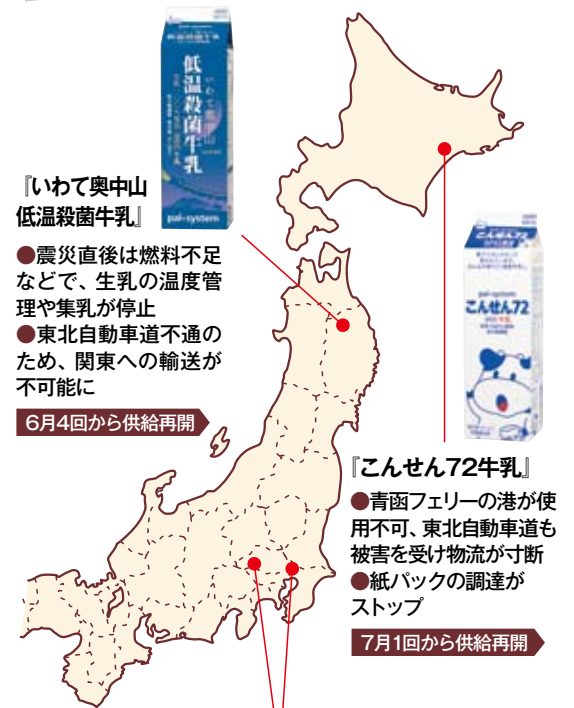
● 電気が止まった!

牛のお乳をしぼるのにも、しぼった生乳を冷温で貯蔵するにも電気が必要です。地震直後、東北地方の広い範囲で停電がおき、数日間は「しぼる、冷やす」の機能がストップ。関東でも、計画停電の影響で電力供給が逼迫したため、温度管理の徹底がむずかしくなりました。このため、「お乳をしぼっても出荷できない」という事態も生じました。

● 紙パックが足りない!

紙パック工場が被災したため、被災していない紙パックメーカーに注文が集中。全国的に紙パック不足の状態になりました。多種類での生産がむずかしいなか、乳業メーカー各社は生産量が多い一般的な商品に絞り込んで製造せざるを得ない状況に。殺菌方法が特殊なパルシステムの牛乳は、一時的に製造見合わせとなったのです。

牛乳産地の被害状況と現在の供給状態



パルシステムの対応と、お届け再開までの道のり。

● 「いつもの牛乳」が届けられない! それでも牛乳を安定供給するために

市販品の多くの牛乳が超高温殺菌(UHT:120~130℃2~3秒間)を採用しているのに対し、パルシステムがこだわっているのが、生乳本来の風味や味わいを損ないにくい高温短時間殺菌(HTST:72℃15秒または75℃15秒)や低温長時間殺菌。より繊細な温度管理が必要な牛乳です。そのため電力供給が不安定な状況下で、きめ細やかな温度管理を徹底できるとは言いきれないとの観点から、温度管理しやすく、かつ製造量が多いUHT牛乳をお届けすることとなりました。

● 手探りの期間を経て、6月4日より順次再開

その後、時間を追うごとに物流や電気の復旧が進み、紙パックの増産体制も整備が完了。そこでHTSTや低温殺菌牛乳のお届けを再開することを判断しました。準備期間を経て、6月4日から商品カタログへの掲載を再開できることとなったのです。ここに至るまでの間、パルシステムの牛乳担当者は代替りの牛乳を届けてくれる工場に毎日電話をし、出荷可能な本数を確認するなど手探りの状態が続きました。



『いわて奥中山低温殺菌牛乳』の作り手から

「産直牛乳」、待っていてくれてありがとう。

奥中山は、地震による直接的被害は幸いほとんどなかったのですが、直後に停電し、その日の夕方は搾乳できなかつたんです。私自身とても動揺しました。牛たちも、震災の夜はストレスで一睡もしていなかつたんですよ。地震翌日に停電は解除になり、なんとか搾乳しましたが、工場から「燃料がなくてだめなんです。捨ててください…」と言われて。結局10日間くらいは生乳を廃棄せざるを得なかつた。いまだかつてないことで、心が痛みました。再開するまで組合員さんが待っていてくれるということが何よりの支えでした。私たちは、毎日毎日、牛と向き合っ、牛とともに生きているんです。「継続は力なり」の思いで、毎日搾って、毎日世話して…。だから、毎日飲んでくれることが、いちばんうれしいですね。



『いわて奥中山低温殺菌牛乳』生産者 中島節子さん

パルシステム職員から

“パルシステムの牛乳”への支持を改めて受け止め、整備を進めていきます。

震災後、「どこの産地のものが届くか知ったうえで注文したい」「いつもの牛乳が飲みたい。なぜ再開できないのか?」といったご意見や要望を多数いただきました。みなさんの声に充分にこたえられず、また、長い間お待たせして申し訳ありませんでした。

改めて、HTSTや低温殺菌牛乳を強く支持いただいていることを痛感しました。みなさんに飲み続けていただけるよう、産地の一部では自家発電設備の導入を検討するなど、今後に向けた整備を進めています。パルシステムの牛乳を、これからもよろしく願いいたします。

パルシステム連合会産直推進部 産直開発課課長 高橋英明

商品情報ダイヤルへ

ご所属のセンターへ ■配達 ■交換・返品 ■請求関係 ■利用の休止・住所変更 などに関するお問い合わせ

■原材料・賞味期間 ■次回掲載予定 ■使い方・レシピ などに関するお問い合わせ

くらしの相談センター

0570-011-099

受付 月~金曜日 10時~17時

※ナビダイヤルは有料です。パルシステムの配達エリアからは固定電話の場合、一律3分約8.5円でご利用いただけます。携帯電話の場合は、ご本人の利用プランにより料金が異なります。なお、IP電話、PHSからは、つながりませんので、その場合は03-5292-8235までおかけください。

パルシステム東京

- 足立センター ☎0120-010-530
江東センター ☎0120-581-244
港センター ☎0120-581-086
青梅センター ☎0120-176-565
府中センター ☎0120-444-494
東村山センター ☎0120-449-901
立川センター ☎0120-884-288
八王子センター ☎0120-414-404
世田谷センター ☎0120-449-986
多摩センター ☎0120-750-061
練馬センター ☎0120-560-551
池尻センター ☎0120-581-518
大田センター ☎0120-543-550
江戸川センター ☎0120-808-921
三鷹センター ☎0120-581-081
板橋センター ☎0120-916-071
狛江センター ☎0120-808-175

パルシステム神奈川ゆめコープ

- 相模センター ☎0120-581-286
大和センター ☎0120-581-707
麻生センター ☎0120-868-014
横浜南センター ☎0120-581-505
横浜北センター ☎0120-581-530
平塚センター ☎0120-581-257
横浜中センター ☎0120-581-376
藤沢センター ☎0120-581-226
宮前センター ☎0120-581-336
横須賀センター ☎0120-581-328
鶴見センター ☎0120-581-606

パルシステム千葉

- 柏センター ☎0120-393-581
印西センター ☎0120-584-741
市川センター ☎0120-560-170
習志野センター ☎0120-631-717

千葉センター

- 松戸センター ☎0120-121-157
旭センター ☎0120-299-816
市原センター ☎0120-302-515
野田センター ☎0120-042-591
稲毛センター ☎0120-936-406

パルシステム埼玉

- 三芳センター ☎0120-148-502
白岡センター ☎0120-885-643
蕨センター ☎0120-313-502
大宮センター ☎0120-039-088
東松山センター ☎0120-868-635
入間センター ☎0120-864-106
草加センター ☎0120-922-170
川越センター ☎0120-513-418

パルシステム茨城

- つちうらセンター ☎0120-169-500
みとセンター ☎0120-149-500
うしくセンター ☎0120-160-366
なかセンター ☎0120-849-900
かしまセンター ☎0120-157-085
ひたちセンター ☎0120-029-401
しもつまセンター ☎0120-279-500

パルシステム山梨

- 甲府センター ☎0120-28-5891
富士五湖センター ☎0120-32-1061
いちのみやセンター ☎0120-21-9898

パルシステム群馬

- 高崎センター ☎0120-60-5118
渋川センター ☎0120-36-3315
東毛センター ☎0120-63-3735

パルシステム福島

- いわきセンター ☎0120-460-460
郡山センター ☎0120-972-982

パルシステム静岡

- 富士センター ☎0120-868-014

※センターによって、携帯電話からはご利用できない場合があります。